

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校評価書 【学校力向上プラン】

自らを律し、自ら学び続ける子

堺市立 八下中学校
校長 笠谷 直美

令和6年度 重点目標

「生徒、保護者、地域の『信頼に応える』魅力ある学校づくりの推進」 (1)学力向上 (2)不登校生対応 を二本柱に教育活動を推進する

「確かな学び」の現状

- ・全体的に、生徒は落ちついた学校生活を送り、静謐な環境で学びに向かっているが、一部生徒が集中できない時もある。
- ・「学力向上」は喫緊の課題であり、研修を充実させ授業改善を図る。昨年度のチャレンジテストの結果において、学年や教科によっては大きな課題が見られた。本校独自の IT 授業や、学力定位層の放課後学習などを実施する。
- ・

「豊かな心・健やかな体」の現状

校区が 1 小学校 1 中学校であり、人間関係が固定的になる傾向がある。そのことに起因する要素もあり、不登校傾向の生徒もみられる。誰一人取り残さない学びを推進し、不登校生の居場所を確保して新たな学びの場を設定し、最終的には教室での学習へと繋げていく。また、各種行事への取組を充実させ、成功体験を積み重ね、達成感を味わわせることで自己肯定感を高める。家庭・地域との連携を図り、健康的な生活習慣の確立をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況 (年度末)					
								自己評価		学校関係者評価			
確かな学び	基礎学力の向上	学習内容の定着と学習習慣の確立	●基礎学力の定着を図り、各種調査での下位層の生徒の割合を減らす。	各調査での正答率 20 点未満の生徒の割合を堺市平均以下にする。	・全国学力調査等の調査結果	年度末	△	【全国学力調査】国語は正答率 20%未満が 9.7%で府平均 4.5%上回ってしまったが、数学は 9.7%に対し府平均(10.2%)以下であった。	△	【チャレンジテスト】正答率 20%未満が、学年や教科によって、府を下回る教科や、上回る教科があった。少人数指導や放課後学習を取り入れた教科は昨年度より向上している。	○	加配教員が配置されていない状況にもかかわらず、IT 授業の実施など工夫がなされ、少しずつ成果が上がってきている。	
			生徒が自主的に計画を立て、家庭で復習や課題に取り組むための家庭学習支援	各種アンケート調査での肯定的回答が 75%以上、	・堺市学調 ・堺市学習・生活状況調査 ・学校教育アンケート		—	年度末に評価	△	【学校教育保護者アンケート】「子どもは宿題や授業の復習や予習など、家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答が 60%であった	△	目標には達していないが、「60%が取り組めている」は決して悪くなく、学びに向かう意志のや姿勢が着実に育まれている。	
		授業改善	生徒が主体的に考える授業を展開し、思考力・判断力・表現力を育成する	授業において、意見を交流したり自分の考えを発表したりする機会を設定する。	各種アンケート調査での肯定的回答が 70%以上、		・全国学力調査 ・堺市学習・生活状況調査	○	【堺市学調】「話し合いや集めた資料から自分の考え方が変わったり深まったりした」の肯定的回答が 75.7%であった(堺市 69.3%)	○	【堺市学調】「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと」肯定的回答が 77.1%(堺市 68.5%)	○	生徒たちは自ら進んで行動しており、その背景には集団としての高い意識があると考えられる。
				国語科の少人数指導を充実させ、きめ細かい指導により言語活動を展開する。	・各調査結果で大阪府平均以上 ・「国語の授業がよくわかる」の肯定的回答が 85%以上			○	【全国学力調査】・大阪府や全国の平均点を上回った・「国語の授業がよくわかる」の肯定的回答が 90%であった	○	【堺市学習・生活状況調査】「国語の授業の内容はよく分かりますか」の 2 年肯定的回答が 91.31%で昨年を大きく上回った。	○	『授業を受けて「わかる」ようになる』ことは基本的に重要な要素であり、特に国語科は大変重要な科目であるため、その取り組みは素晴らしい。
	生徒用端末を活用した主体的な学習を展開し、問題発見力・課題解決力を育成する。	堺市学習・生活状況調査において肯定的回答が 80%以上	・堺市学習・生活状況調査	△	【堺市学習・生活学習踏査】「授業で PC などを使って、ペアやグループで調べた内容や作成した資料を基にし合う」 73.4%	○	【堺市学習生活状況調査】「授業で PC やタブレットなどを使って学習課題に沿って、興味のあることを調べる」 86%	○	タブレット等の ICT 機器が話し合い活動に活用され、生徒たちが楽しんで参加し、活動が盛り上がっていると聞いている。				
	豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	規範意識を育み、他者と協力してよりよく生きるための力の育成	道徳の授業を充実させ、生徒の規範意識の向上を図る	各種調査での肯定的回答が 90%以上	・堺市学調 ・堺市学習・生活状況調査	年度末	○	1 年:授業開始の時間を守る 97.4%(市平均 94.4) 2 年:ルールや順番を守る 90%(市平均 84.6)	○	【堺市学習生活状況調査】学校のルールやきまりを守っている：98%	◎	学校が落ち着いており、素晴らしい結果である。
				生徒が主体的に計画し、協力して取り組むことができる行事の設定	各種調査での肯定的回答が 90%以上			○	文化活動発表会・体育大会など生徒が主体的に協力して取り組めた	○	【学校教育保護者アンケート】生徒は体育大会や文活で意欲的に取り組んでいる。肯定的回答 91%	◎	生徒が主体的に協力して取り組んでおり、その姿が見ている者にも楽しさや感動を与えてくれた。
				成功体験を積み重ね、生徒の自己肯定感を高める	各種調査での肯定的回答が 80%以上	・学校教育アンケート		△	【堺市学調】「自分には良いところがある」1 年: 72.4%(市 75.9)・2 年: 78.6%(76.3)	○	【堺市学習生活状況調査】「自分のことを大切に思うすか」の肯定的回答 82%	○	教員のサポートが影響している結果だと思われる。
		生活習慣の改善	基本的生活習慣の確立	「家での 7 つのやくそく」を基本にして、生徒が安全や健康について考える機会を充実させる	・生徒会・衛生委員会の啓発 ・各種調査での肯定的回答が 85%以上	・堺市学習・生活状況調査 ・学校教育アンケート	年度末	○	【全国学力調査】 ・毎日朝食を毎日食べる 88.8% ・毎日同じ時間に寝る 75.1% ・毎日同じ時間に起きる 87.6%	○	・衛生委員会より「衛生委員会だより」や PP を使って健康啓発を実施 【堺市学習生活状況調査】 ・毎日朝食を毎日食べる 86%	○	保護者の意識が高く、家庭と学校が連携することで、生徒の健やかな成長を支えている。
				誰一人取り残さない学びを推進し、ステップルームを開設する。	年間欠席 30 日以上を生徒を減少させる			不登校調査	—	年度末に評価(ステップルームの他、ユーアイルーム、北区フィット等への出席)	○	本年度よりステップルームを開室し、居場所づくり・学習支援等を行い、保護者からも好評である	○
地域連携				小中連携 地域協働	幼小中一貫した指導体制の充実	1小1中の強みを生かした小中連携の推進		各種アンケート調査での肯定的回答が 80%以上	学校教育アンケート	年度末	○	夏季休業中に小中合同研修(授業改善)を実施。来年度から始まる給食の見学や、アレルギー対応の連携をしている。	○
	地域・家庭への情報発信との協働体制の充実	HP や「八下 TIMES」を通じて教育活動の現状や成果を発信。地域や家庭と協力した取組を進める。	ホームページへのアクセス数 各種調査 70%以上、		学校教育アンケート	○	HP を充実させ、積極的に情報発信を行っている。地域行事も記事として取り上げている	○	【学校教育保護者アンケート】学校だよりや学年だより、HP で学校生活の様子が良くわかるの肯定的回答が 92%		◎	ホームページがとても充実していて、毎日チェックするのが楽しみである。	

校長より (年度末)・少人数指導や放課後学習を実施した教科は、学力下位層が減少するなど効果があった。学力向上について、自宅で学びに向かう仕掛けや、職員の一層の研修(授業改善)が必要である。ステップルームを設置したことで不登校生の学力保障や居場所づくりの基盤ができた。来年度はより活性化をめざす。特別支援が必要な生徒について、困り感を解消できるよう、また学びやすさについても共通理解を図った。来年度もより充実した特別支援教育を実施していく。

学校関係者評価者から (年度末) 思春期の子どもが、きちんと挨拶をするなど、素直に成長している。生徒会が、しっかり活動しており生徒による自治ができている。